

「家庭文庫」で

絵本を紹介

南が丘町6丁目の大西倫美さん ともみ



お薦めの絵本を手に笑顔の大西さん

紋別市南が丘町6丁目の紋別高校教職員住宅に4月20日、絵本中心の家庭文庫「ばりばり文庫」がオープンしました。主宰する大西倫美さん（27）は、旭川出身の2児の母。6月15日から読み聞かせなどのイベントも始める予定で、大西さんは「いろんな人や情報に出会える空間にできたらうれしいですね」と広がりを感じています。

家庭文庫の開設を思い立ったのは、同じ教職員住宅内にあった「まらなた文庫」が主宰者の転居で閉じることになったため。大西さんも利用していたことから「いろんな人と会って楽しい話ができる場所がなくなるのは寂しい」「子どもたちの集う場を残したい」と考え、実行に移したそうです。興味を持ったらすぐに挑戦してしまふ性格の大西さん。文庫名は夫と相談するうちに出てきた「よくばり工房」を縮めたというユニークなものです。

文庫スペースは居間につながる南向きの明るい6畳

間。本は「まらなた文庫」から300冊ほどを譲り受けたほか、大西さんも実家に置いていた本を持って来るなどして500冊ほどになりました。このほか紋別市立図書館から絵本100冊の団体貸出も受けていて、3ヵ月ごとに50冊が新しくなります。

実際に始めてみると絵本そっこので遊ぶ子が多く、「まだ絵本が少ない」という不安が一掃されたそう。「みんな家庭文庫の再開を待ちわびていたんだなと実感しました。本を借りていく子どもたちは、貸出し帳に自分で一生懸命に名前を書いていて、見ていると可愛いですよ」とっこり。今後は読み聞かせや庭を使ったイベントなども企画していくそうです。

開館日は毎週金曜日の午前10時半から正午までと、午後2時半から午後4時まで。ただし祝祭日と夏・冬・春休み中、それに毎月第1金曜日の午前中は休み。詳しい問い合わせは大西さん（☎24）9175番まで。